

平成 28 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人

猪名川町社会福祉協議会

目 次

1. 総括	1 ページ
2. 諸活動報告	
1) 諸会議	2 ページ
2) 地域福祉活動	5 ページ
3) ボランティア活動	8 ページ
4) 障がい者（児）福祉活動	12 ページ
5) 高齢者福祉活動	18 ページ
6) 福祉教育活動	26 ページ
7) 広報・啓発活動	28 ページ
8) 自主財源活動	28 ページ
9) 団体事務局の運営	31 ページ
10) 総合福祉センター管理運営等	31 ページ
社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況	34 ページ

平成 28 年度 猪名川町社会福祉協議会 事業報告

1. 総 括

昨年、国では「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部を立上げ、今や「地域福祉」を国が政策化する時代となっています。「我が事」は地域づくりを指し、住民主体による地域課題への対応力強化や体制づくりを目指し、「丸ごと」は地域課題が複雑、多様化するものを包括的に受け止める総合的な相談支援体制づくりを支援し、推進することを目的としています。

こうした状況の中、当協議会でも慢性的な人材不足が続いた中、人材確保に職員が様々なアイデアをもちより、単に求人広告を出すのではなく、独自に目につきやすい求人広告を作成、職員で地域分担し各家庭にポスティングを行い、職員一丸となって、苦境を乗り切ることができました。このような経験を経た中、人材流出を防ぎ、人材定着する職場環境づくりを目標に、今年度より正規職員中心に意見交換会をスタートさせ、その中でまず「風通しのよい職場づくり」を目標に取り組むことができました。また、人材育成面においては、職員研修規程を整備し、今後計画的に研修を実施するとともに、社協職員として、かつ専門職として資質向上を目指していく枠組みを策定しました。

「地域包括ケアシステム」構築を見据え、地域包括支援センターの機能維持・強化を図り、複雑・多様化する問題を抱える高齢者世帯に対する相談支援にも対応しました。さらに町行政はじめ、地域の関係機関・団体とも連携し、生活支援コーディネーターとともに地域レベルで高齢者を支える体制づくりに向けて地域資源の調達、担い手の発掘等の活動を行いました。

障がい者福祉サービスにおいては、障害者相談支援センターの相談員を4人体制とし、より密な相談支援体制に努めました。多機能型事業所「希望の家すばる」においては、職員間の情報共有、研修を重視し、専門性を高め、チームワークで安定的に支援できる体制づくりに努めました。このほか地域活動支援センター、居宅介護、移動支援、日中一時利用、障害児療育支援など障害者総合支援法に係る様々な事業で支援する傍ら、地域福祉活動の一環である「ふれあい運動会」や「ふれあいバスツアー」、「イナワイ」等の活動にも引き続き取り組み障害者交流啓発活動を実施しました。

組織基盤体制については、平成 29 年度から本格施行される改正社会福祉法に対応すべく、法人組織体制の変更や規程等の整備・改正を行いました。

法人全体の事業収支では、今年度は収入総額 449,542,895 円（対前年度 98.67%）、支出総額 438,545,541 円（対前年度 99.76%）となり、差引額 10,997,354 円の黒字となりました。

平成 25 年度から毎年、少しずつ収支改善がみられておりますが、今後も引き続き財政基盤を安定させるとともに、人材確保等サービスの質の向上と安定的な支援提供に努めてまいります。

以下、ここに平成 28 年度における本協議会の諸活動について報告致します。

2. 諸活動報告

1) 諸 会 議

◎理事会開催状況

(理事定数 11 名)

年月日	会議名	場 所	内 容	
28. 4. 22	理事会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 議案第 2 号	評議員の選任について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会事務局組織規程の一部改正につ いて
28. 5. 23	理事会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 3 号 議案第 4 号 議案第 5 号	評議員の選任について 平成 27 年度社会福祉法人猪名川町社 会福祉協議会事業報告について 平成 27 年度社会福祉法人猪名川町社 会福祉協議会収入支出決算について
28. 6. 11	理事会 (3 回)	総合福祉センター	議案第 6 号	会長・副会長の選任について
28. 9. 23	理事会 (4 回)	総合福祉センター	議案第 7 号 議案第 8 号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会嘱託職員の雇用に関する要綱の一 部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会臨時職員の雇用に関する要綱の一 部改正について
28. 11. 29	理事会 (5 回)	総合福祉センター	議案第 9 号 議案第 10 号 議案第 11 号 議案第 12 号 議案第 13 号 議案第 14 号 議案第 15 号 議案第 16 号 議案第 17 号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会定款の全部改正について 【議案取下】社会福祉法人猪名川町社 会福祉協議会定款施行細則の全部改 正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会評議員選任・解任委員会運営細則の 制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会評議員・理事・監事選任規程の制定 について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会育児・介護休業等に関する規程の全 部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会妊娠・出産・育児休業等に関するハ ラスメント及びセクシャルハラスメ ントの防止に関する規程の制定につ いて 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会職員就業規則の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会嘱託職員の雇用に関する要綱の一 部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会臨時職員の雇用に関する要綱の一 部改正について

29. 1. 27	理事会 (6回)	総合福祉センター	議案第18号 議案第19号	平成28年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第1号)について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
29. 3. 21	理事会 (7回)	総合福祉センター	議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 議案第26号 議案第27号 議案第28号	猪名川町社会福祉協議会経理規程の全部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員研修規程の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会ゆうあいデイサービスセンター指定通所介護事業運営規程等の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会多機能型事業所「希望の家すばる」運営規程の一部改正について 評議員候補者の推薦について 平成29年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の事業計画について 平成29年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出予算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会嘱託職員の雇用に関する要綱の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会臨時職員の雇用に関する要綱の一部改正について

◎監事会開催状況

(監事定数2名)

年月日	会議名	場 所	内 容
28. 5. 17	監査	総合福祉センター	平成27年度収入支出決算監査

◎評議員会開催状況

(評議員定数23名)

年月日	会議名	場 所	内 容
28. 5. 27	評議員会 (1回)	総合福祉センター	議案第1号 議案第2号 議案第3号 理事及び監事の選任について 平成27年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 平成27年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について
28. 12. 7	評議員会 (2回)	総合福祉センター	議案第4号 議案第5号 議案第6号 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会定款の全部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員・理事・監事選任規程の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の全部改正について

			議案第 7 号 議案第 8 号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント及びセクシャルハラスメントの防止に関する規程の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について
29. 2. 2	評議員会 (3 回)	総合福祉センター	議案第 9 号	平成 28 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第 1 号)について
29. 3. 28	評議員会 (4 回)	総合福祉センター	議案第 10 号 議案第 11 号 議案第 12 号 議案第 13 号 議案第 14 号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員研修規程の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会ゆうあいデイサービスセンター指定通所介護事業運営規程等の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会多機能型事業所「希望の家すばる」運営規程の一部改正について 平成 29 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の事業計画について 平成 29 年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会の収入支出予算について

◎兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会

年月日	会議名	場 所	内 容	
28. 4. 22	委員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 議案第 2 号	平成 27 年度赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動報告について 平成 27 年度一般会計及び特別会計決算について 監事監査報告について
28. 9. 23	委員会 (2 回)	総合福祉センター	議案第 3 号 議案第 4 号 協 議	平成 28 年度共同募金運動の実施計画について 平成 28 年度一般会計及び特別会計予算について 共同募金及び歳末たすけあい募金にかかる各自治会への依頼方法について

◎共同募金委員会監事監査開催状況

年月日	会議名	場 所	内 容
28. 4. 19	監事 監査 (1 回)	総合福祉センター	平成 27 年度赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動報告 平成 27 年度一般会計及び特別会計決算監査

◎地域福祉推進計画評価委員会

地域福祉推進計画に基づいて実施している事業について、住民の立場や専門的な視点から評価を行い、計画の確実、効果的な推進を図ることを目的として、評価委員会を開催しました。

第6次地域福祉推進計画策定後、2年目の各事業の評価、現状と課題（評価）及び次年度の目標について報告を行うとともに、委員の方々より地域の課題について協議、意見交換を行いました。

2) 地域福祉活動

①福祉委員活動

福祉委員制度は、最も身近な地域で福祉的課題に「気づく」「受け止める」「つなげる」「伝える」を役割として、各地域で住民主体の福祉活動を進め、地域の福祉力を高めていくことを目的として設置されたもので、今年度もその活動の推進・支援に努めました。



福祉委員会全体会の様子

◆福祉委員会全体会議の開催

《計2回：5月21日（土）63名参加・11月5日（土）65名参加》

◆役員会の開催（計4回：5月14日・7月16日・9月17日・3月11日）

◆「健康福祉まつり」への出展

これまで福祉委員会主催で福祉用具展示会を実施していましたが、今年度は「健康福祉まつり」で福祉委員会として単独ブースにて出展し、地域の居場所づくりの手段として「コミュニケーション麻雀」の体験を実施しました。

◆小地域福祉組織化活動

地区（校区）福祉委員会では、それぞれの地域特性にあわせた福祉啓発活動、地域ふれあい交流活動、在宅福祉援助活動などに取り組みました。

○主な活動内容

地区（校区）	主な活動内容
内馬場・伏見台地区	お花見会（民生委員・児童委員と共催）、映画会（年4回）、福祉落語会、歌声サロン（月1回）、カラオケ、グラウンドゴルフ等
原・松尾台地区	ふれあいひろば（年2回）、自治会・民生委員・児童委員との交流会等

阿古谷地区	ふれあい交流会（夏祭り、カラオケの集い、うどんづくり教室、出前寄席、健康講座等）、サロン活動等
猪名川小校区	「若葉いこいの家」の運営ボランティア（子育てほっとスペース、手芸サークル、クリスマスコンサート等）、健康教室（チェアトレとサロン）、むつみ会の運営サポート、サマーフェスタ、秋祭り、しめ縄と餅つき、世代交流等
つつじが丘小校区	夏祭り、ふれあいサロン（音楽療法、福祉漫才、フラメンコ鑑賞会、懇談会） いこいの会（お花見、夏祭り、おしゃべり会、秋のスペシャル、餅つき大会、かるた会、ひな祭り等：猪名川台）、カフェサンの開催（お花見、そば道場、ギターコンサート、講座等：差組）、花の訪問等
白金小校区	「ほっとサロン絆」（月1回）、土曜サロン（年4回）、健康講座、福祉委員研修（施設見学）、善意の傘のメンテナンス等
楊津小校区	グラウンドゴルフ大会、楊津夏祭り、民生委員・児童委員との連携・交流会等
大島小校区	トレイルランでの協力（餅つき他）、自治会内住民個別訪問、独居老人との対話、民生委員・児童委員との連携・交流会

◆行事・イベント等への参加

「健康福祉まつり」、「障害者ふれあい運動会」、社協会員会費、共同募金など社協事業・活動への協力。

②ふれあい弁当サービス

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯等を対象に、安否確認や食生活充実を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

今年度は、ケアマネ連絡会やサービス事業所への周知活動を実施しましたが、昨年度よりも新規利用者が少なく、また利用者の体調不良による入院等も重なり、実績としては1812食/48日（昨年度1877食/49日）の実施となりました。また、毎月1回のおたより「お弁当だより（翌月の献立表も掲載）約480部/年」の発行や利用者対象にアンケートの実施や事業啓発を実施しました。ひとり暮らしの高齢者が年々増加する中、今後も当事業を通して安否確認や地域とのつながりづくりに努めます。

◆ふれあい弁当月別配食実績表

（単位：食）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28年度	160	122	203	152	147	152	142	156	151	112	145	170	1,812
1回あたりの平均配食数	40	40	40	38	36	38	35	39	37	37	36	34	38
27年度	168	119	169	214	129	166	164	168	117	114	154	195	1,877
1回あたりの平均配食数	42	41	42	42	43	41	41	42	39	38	38	39	40

③福祉相談活動

◆生活福祉資金貸付事業

生活困窮世帯の方々に低金利で資金を貸付けする事業で、相談支援を通じて経済的自立を図るとともに、在宅福祉の推進と社会参加促進を図り、地域で安定

した生活を送れることを目的とした貸付事業です。

今年度の相談は延べ31件で、数年前から相談を受けていたケースの再相談開始や、生活保護受給の方、自己破産申請中の方への支援等がありました。また、様々な他制度、フードバンク、生活保護、ワーカーズコープ、善意銀行、歳末たすけあい運動を通じて貸し付けできない方への支援も実施しました。

◆心配ごと相談の運営

民生委員児童委員協議会に委託して実施しており、総合福祉センター、ふらっと六瀬及び日生公民館において、原則月3回、火曜日の午前10時から12時まで民生委員・児童委員が輪番で相談を受けつけています。今年度の相談件数は1件でした。昨年度は3件でした。

④日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

判断能力が十分でない方（認知症高齢者・精神障害者・知的障害者等）が、地域で安心して生活ができるように福祉サービス利用への援助（情報提供・利用手続きの援助、利用料の支払等）や日常の金銭管理（生活費の引出し、預金通帳・印鑑の預かり）等の支援内容を定め契約し、派遣される「生活支援員」により自立した生活支援を行うことを目的とし、平成12年度より実施しています。

今年度は、生活保護世帯1件について支援員派遣を開始しました。啓発活動として介護支援専門員連絡会にて、県社協を講師に民生委員・児童委員と研修することで当事業を周知し、ケアマネジャーより問い合わせ、相談を受ける機会が増えました。

- ・生活支援員の研修会参加
- ・社協だよりでの広報（平成29年3月1日号）
- ・福祉委員会、ケアマネジャーの会議等での事業説明
- ・相談

⑤福祉用具の貸出事業

平成5年度より、町内在住で福祉用具を必要とする方に、善意銀行に寄付があった福祉用具（車イスや歩行器等）を基本6ヵ月以内無料（一部物品搬出料の負担あり）で貸出を実施しています。今年度は高齢者だけでなく、若い世代の方も両親や祖父母、子どもにと相談に来られたこともあり、昨年度と比較すると増加となりました。

（単位：件）

貸出器具	車イス	介護用ベッド	ポータブルトイレ	歩行器	その他 (杖・入浴関連他)	合計
28年度	76	2	26	10	28	142
27年度	71	3	20	7	18	119

⑥手作りおもちゃの貸出事業

「おもちゃ図書館」では、ボランティアが製作した手作りおもちゃを、地域の団体や子育て支援グループ・個人への貸出しを行いました。個人への貸し出し個数の見直しも行いましたが、貸出件数は伸び悩みましたが、定期的に利用されている団体もありました。今年度は、町内の学童保育へおもちゃの一部を寄贈しました。

今年度貸出し件数 22件 (昨年度…24件)



3) ボランティア活動

①ボランティア活動センターの運営

- ◆兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の取扱い件数は144件、加入者数は1,396名でした。(昨年度119件・1,378名) その内、「天災危険補償プラン」の取扱い件数は6件、加入者数は8名でした。
- ◆ボランティアグループ連絡会では、8グループの代表者により、ボランティア活動に関する連絡調整・企画検討などを今年度は1回開催しました。
- ◆猪名川町ボランティア活動センター運営委員会では、ボランティア活動センターの円滑な運営を図るために、運営委員会を設け5名の委員(ボランティア関係・福祉委員・当事者団体・関係行政機関・社協理事)で構成されています。今年度は1回開催し、ボランティア活動センターの事業について協議しました。

◆ボランティアに関する相談受付処理状況

(単位：件)

内容	ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	その他法人設立に関する相談	その他	合計	昨年度実績
一般住民	30	4	0	2	1	0	6	0	1	44	39
ボランティア・市民活動団体	5	0	2	24	25	2	36	0	0	94	97

福祉施設・病院	0	692	0	1	0	0	0	0	0	693	804
行政機関	1	24	0	4	0	0	3	0	0	32	32
社協	0	173	1	2	0	0	0	0	0	176	173
福祉団体	0	24	1	1	0	1	7	0	0	34	73
学校・教育機関	2	14	30	7	1	0	2	0	0	56	60
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	38	931	34	41	27	3	54	0	1	1,129	1,278

ボランティアの活動延べ人数は、2,007名となり、依頼者ごとの主な活動内容は、以下のとおりです。

一般住民	傾聴活動、活動や作業の手伝い
福祉施設・病院	話相手(傾聴)、活動や作業の手伝い、行事手伝い等
行政機関	講演会等での情報保障(手話通訳・要約筆記)、託児等
社協	ふれあい弁当サービスの調理及び配食、声の広報CD作り、「おもちゃ図書館」手作りおもちゃ作り、イベントの手伝い等
福祉団体	イベント等での情報保障(手話通訳・要約筆記)、託児等
学校・教育機関	点字の学習、聴覚障害の学習、認知症サポーター養成講座などの指導等

②ボランティア講座・研修会の開催

今年度も、引き続き「第6次地域福祉推進計画」に基づき、住民が参加しやすい講座の開催を目指しました。「災害ボランティア養成講座」をはじめ、開催日時の設定を工夫し、町内事業所へポスターやチラシ配布などのPR活動を行いました。

また、地域住民の方々に社協の活動を知って頂くことを目的に、講座の様子を社協だより、ホームページに掲載し周知に努めました。

◆サマーボランティアスクール2016

中・高校生、大学生を対象に、夏休み期間に福祉体験活動を中心に福祉への関心を高めるとともに、ボランティア活動の参加の契機となることを目的として平成4年度より開催しています。

開催日：平成28年7月21日(木)～8月31日(水) 延べ日数：37日

場 所：総合福祉(ゆうあい)センター・天河草子ほか

内 容：介護保険サービス(デイサービス・グループホーム)・障害者福祉サービス(多機能型事業所「希望の家すばる」)・ふれあい弁当作りの活動のほか、ボランティアグループの協力のもと音訳・点訳・要約筆記・託児等の体験などの活動の場を設けました。今年度は、受け入れ先を開拓し、町内の事業所や小地域福祉活動にも受け入れに協力頂きました。複数の活動を希望する受講生があり、ボランティア活動に触れる機会となりました。

参加者：19名 延べ：43名（昨年度 14名、延べ：27名）

◆ボランティアきっかけ講座

ボランティアに興味がある方、関心はあるけれども活動に踏み切れない方を対象に、ボランティアの基礎を学び、まずは「はじめの第一歩」に踏み出すきっかけとなることを目的に「ボランティアきっかけ講座」を実施しました。



きっかけ養成講座の様子

開催日 平成28年6月22日(水)～7月13日(水)

毎水 14:00～16:00 計4回

場所 総合福祉（ゆうあい）センター 研修室
社会福祉会館 講習室

内容 第1回 「ボランティア活動について」

「登録ボランティアグループの紹介とプチ体験」

講師 猪名川町社会福祉協議会 職員

登録ボランティアグループ

第2回 「～セカンドライフを楽しむ～ 人生10万時間の活かし方」

講師 夢こらぼ 松尾 やよい氏

第3回 「認知症サポーター養成講座」

講師 キャラバンメイト

第4回 「おいしいコーヒー・紅茶の淹れ方」

講師 カフェ店員 渡邊 智子氏

世界のお茶マイスター 佐藤 美紀氏

参加者 16名 延べ 45名

◆手話ボランティア養成講座（前期）

手話技術の習得を通じて障がいのある方々の現状や立場を理解し、福祉活動への関心を深めていただくと共に、聴覚障がい者の家庭生活・社会生活上のコミュニケーションの支援をする手話ボランティアの養成を図ることにより、障がいのある方の福祉の増進に役立てることを目的として、手話ボランティア養成講座（前期）を開催しました。



なお、厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラムに対応し、前期・後期 計80時間の講習を通して「新手話教室入門」と「手話教室基礎」を実施する必要があるため、平成29年9月～後期講座を開催予定です。

開催日 平成28年9月14日(水)～平成29年2月15日(水) 毎水

10:00～12:00 計20回

場 所 総合福祉（ゆうあい）センター 研修室
内 容 手話の基礎知識等
参加者 9名（内、修了者は、8名）延べ147名

◆ちびっこボランティア講座

小学生を対象に、障がいのある方やボランティア等とのふれあいを通じて、子ども達が積極的に福祉やボランティアへの関心を持つ契機となることを目的に開催しました。今年度は、今後どこで起こるか分からない地震・津波・水害等の災害について知り、子供達が自分でできることを考え、防災に関心を持つ契機となることを目的に開催しました。（保護者同伴で1・2年生の小学生も対象としました。）



ちびっこボランティア講座の様子

開催日 平成28年11月19日（土）
10：00～12：00

場 所 総合福祉（ゆうあい）センター 研修室

内 容 「みんなでぼうさい！楽しくぼうさい！

～知ってみよう！やってみよう！～」

講 師 NPO法人さくらネット 河田 のどか氏

参加者 10名（昨年度 7名）

◆災害ボランティア養成講座

災害に関する学習を通じて、猪名川町や各地で災害が起こった時に活動するボランティアを養成することを目的に毎年実施しています。今年度は、講義や図上訓練を通じて、避難所開設・運営時に、どのように対応していけば良いのかを学びました。



災害ボランティア養成講座の様子

開催日 平成29年3月4日（土）
10：00～12：00

場 所 総合福祉（ゆうあい）センター 研修室

内 容 「誰もが避難しやすい避難所開設について」

講 師 認定NPO法人ゆめ風基金 八幡 隆司氏

参加者 20名（昨年度 21名 延べ35名）

◆ボランティア交流会

ボランティア同士の交流が希薄な中、どのような方が登録してボランティア活動を行っているのか、地域ではどのようなニーズがあるのか等を共有するため、

ボランティア交流会を開催しました。
 開催日 平成 28 年 7 月 13 日(水)
 15 : 30~16 : 30
 場 所 社会福祉会館 講習室
 参加者 34 名



「ボランティア交流会」の様子

③ボランティアの啓発等

◆ボランティアの啓発

「健康福祉まつり」において、当協議会のブースでは、適正ボランティアのフローチャートやボランティア活動のリーフレット配布・ボランティア募集チラシの配布、舞台 PR などを通じて、ボランティア活動の啓発を行いました。また、登録ボランティアグループがそれぞれパネル展示や活動の PR、ボランティア体験等を実施しました。

グループ名	内 容
音訳ボランティア「リヴィエール」	録音(音訳)体験・活動 PR
調理ボランティア「えぶろん」	活動 PR(ふれあい弁当)
手話サークル「マジック」	手話体験・活動 PR
要約筆記「ゆきんこ」	要約筆記の体験・字幕付き映画の上映・活動 PR
点訳ボランティア「てんてまり」	点字体験・活動 PR
パソコンボランティア「夢ネットいながわ」	パソコンを利用したオリジナルカード作り・活動 PR
傾聴ボランティア「みみい〜な」	傾聴サロン・活動 PR
託児ボランティア「ぼんぼこ」	(参加を見合わせられました。)

◆啓発用冊子等の作成・配布

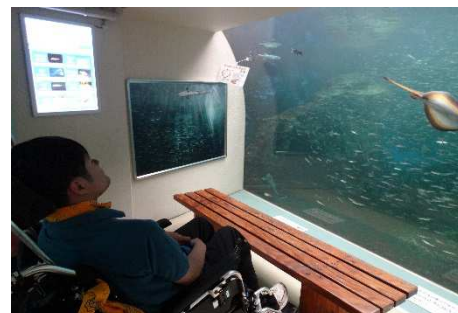
ボランティアに関心のある方、初めて活動をする方に、わかりやすい啓発リーフレット「いっしょにやろうボランティア」や、ボランティア・福祉学習の詳細を記載した啓発冊子「レッツトライボランティア」を配布しました。冊子は学校での福祉学習体験や地域住民にも配布し、啓発に努めました。また、「ふれあい伝言板」を活用して情報発信に努めました。

4) 障害者（児）福祉活動

①ふれあい交流活動

◆ふれあいバスツアーの開催

障がいのある方とその家族、ボランティア等の方々との交流や仲間づくりを目的に「ふれあいバスツアー」を実施しました。



姫路市立水族館や兵庫県立歴史博物館を見学し、世界文化遺産である姫路城を車窓から見学しました。当日は、参加者同士での交流や親睦を図り、参加者からは「日頃交流することの出来ない方と沢山お話出来て楽しかったです」「家族だけでは出かけることは少ないため、いい機会でした」等の声が聞かれ、楽しい1日となりました。(本事業は、善意銀行の指定払い出しにより実施しています)

開催日 平成 28 年 5 月 28 日 (土)

場 所 姫路市立水族館 & 兵庫県立歴史博物館

参加者 32 名

◆障害者ふれあい運動会の開催

障がいのある方とその家族、ボランティアが共にスポーツ・レクリエーションを楽しみながら、仲間や生きがいをづくりとして、「障がい」の壁を乗り越え、お互い理解を深め合い、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることを目的として、毎年6月に開催しています。今年は小学校にもチラシを配布したことにより、初めて参加していただけた方が大変多く、昨年より活気ある運動会になりました。



協力団体・機関：猪名川町手をつなぐ育成会・猪名川町身体障害者父母の会・猪名川町ろうあ協会・猪名川園・猪名川体操協会・要約筆記ゆきんこ・手話サークルマジック・猪名川町民生委員児童委員協議会・猪名川町福祉委員会・猪名川町福祉課

開催日 平成 28 年 6 月 25 日 (土)

場 所 総合福祉 (ゆうあい) センター コミュニティドーム

参加者 120 名

内 容 ①元気にダンス！ダンス！ ②伝統の一戦！（ボール送り）
③狙って命中！ ④応援合戦！
⑤ドレスアップ de パン GET！
⑥パラバルーンで大空へ

②地域啓発活動事業

◆イナワイ（地域交流活動）

平成 24 年度より、障がいのある方との交流や地域における障害者福祉等への啓発活動を目的として、定例会を開催し、当事者のエンパワメントを大切にしながら、今年度も啓発活動等に取り組みました。今年度は、「農」プロジ



エクトの2年目であり、NPO法人元気ファーマーいながわの皆さんと協働でさつまいもを植え、収穫したさつまいもを使ってスイートポテトや焼き芋作り等の取組みました。

③障害者自立支援

◆障害者多機能型事業所「希望の家すばる」

今年度は、各事業における収支バランスの見直しや新規職員の採用など利用者支援体制の強化、将来に向け取組みました。

◎就労継続支援B型事業

今年度は、新たな利用者の受入も行い、試行利用や実習の受入にも力を入れました。作業プログラムにおいては、新たな作業メニューを開拓し大型ショッピングセンター内のATM清掃などに取り組み、利用者工賃の増額に結びつけることができました。また、新たなボランティアにも協力していただき、地域交流への強化を図りました。

○就労継続支援B型事業の利用状況

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28年度	延利用者数	316	303	370	329	323	285	311	324	309	289	327	342	3,828名
	実利用者数	18	18	19	19	18	18	18	18	18	18	18	18	
27年度	延利用者数	350	300	356	338	341	328	350	328	321	282	316	328	3,938名
	実利用者数	18	18	18	18	18	19	19	19	19	18	18	18	

○就労継続支援B型事業の工賃支給状況

(単位:円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
28年度	工賃支給額	123,500	128,050	171,650	118,400	106,000	161,950	119,600
	平均個人支給額	6,861	7,114	9,034	6,578	5,579	8,524	6,295
27年度	工賃支給額	115,200	89,900	84,200	131,600	86,200	85,300	109,300
	平均個人支給額	6,400	4,994	4,678	7,311	4,537	4,489	5,753
		11月	12月	1月	2月	3月	計	
28年度	工賃支給額	191,850	142,300	115,350	166,700	206,824	1,752,174	
	平均個人支給額	10,097	7,489	6,408	9,261	11,490	7,894	
27年度	工賃支給額	161,800	154,500	144,500	100,300	97,560	1,360,360	
	平均個人支給額	8,516	8,132	8,028	5,572	5,420	6,152	

◎生活介護事業

自立した日常生活または社会生活を営むことができるようになることを目的に、日中活動や日常生活上必要な生活支援等を行いました。音楽レクリエーションや日頃の活動等を通じて地域のボランティアと交流しました。また、必要に応じて、利用者が主体となり会議を開催し、外出や調理活動等を通して、生活スキル獲得・向上について取り組みました。

○生活介護事業利用状況

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28 年 度	延利用者数	306	295	331	312	328	306	323	320	314	285	317	342	3,779
	実利用者数	18	18	17	19	20	20	20	20	20	20	20	19	
27 年 度	延利用者数	301	271	323	296	281	280	301	279	276	264	314	347	3,533
	実利用者数	18	18	18	18	17	17	17	17	17	18	18	18	

◆障害者日中一時支援事業

家族の都合や学生の春・夏・冬休み等の長期休み時の利用が多く、今年度は、日中一時利用専任の職員による支援を行うことで、充実した支援を目指しました。

○日中一時支援利用状況

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
28 年 度	実利用者数	4	6	6	8	7	7	6	5	3	3	3	4	62
	利用延人数	15	21	25	28	20	20	27	17	11	3	10	15	212
27 年 度	実利用者数	7	7	9	8	8	5	6	5	5	2	4	5	71
	利用延人数	21	22	26	23	25	18	26	18	16	10	18	16	239

◆移動支援事業

今年度は、利用が慣れてきた利用者が利用日数を増やしたことで、実利用者数及び延利用日数とも前年度対比で大幅な増となりました。また、利用者の状況に合わせた支援を心がけ、てんかん発作がある利用者等には2名体制で支援する取り組みを行いました。

○移動支援事業利用状況

(単位:人・日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	実利用者数	12	9	8	8	7	8	9	6	7	6	5	7	92
	延利用日数	32	28	26	26	22	25	29	24	24	19	19	23	297
27年度	実利用者数	9	7	7	8	9	7	11	10	8	8	9	7	100
	延利用者数	22	15	21	22	23	18	30	23	24	21	25	27	271

◆地域活動支援センター

今年度は、基本的な生活のリズムや基礎体力をつけることを目的とした利用者が多く、キャッチボール、バトミントン、Wii スポーツを取り入れた健康プログラムの充実を図りました。利用状況は昨年度と比較すると、延べ利用者数が増加しました。同センターを生活の居場所の一つとして利用されている利用者が増えたことが要因と考えられます。

○地域活動支援センター事業利用状況

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	延利用者数	85	91	86	88	94	93	100	109	109	109	108	123	1,195
	実利用者数	12	11	11	15	12	13	13	14	14	15	14	15	
27年度	延利用者数	110	65	91	103	102	107	113	91	78	57	59	85	1,061
	実利用者数	11	10	9	13	13	13	15	14	14	11	11	12	

◆障害者ホームヘルパー事業

障がい（身体・知的・精神）があるため、日常生活を営むことに支障がある障がい者の自宅にヘルパーが訪問し、身体介護（身の回りの支援、食事、入浴、排泄等の介助・介護）、家事援助（調理、洗濯、掃除、買物等の必要な家事）、相談・助言・その他（生活・介護に関する相談、外出時の付き添い）サービスを実施しました。

今年度は、身体介護・家事援助ともに、利用者の増加により利用が大幅に増加しました。特に精神障がいの方の利用が大幅に増えています。事業の実施にあたり、家族、相談支援センターや行政等、関係機関と連携を図りながら、個々の障がいに応じた細やかな支援や、他事業所では対応困難なケースなどを率先して受け入れるよう努めました。

○障害者ホームヘルパー利用実績

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
28年度	利用実人員	9	11	11	11	11	12	13	12	11	11	12	10	134	5,937 千円
	延べ利用件数	158	139	134	147	138	158	165	151	140	150	134	128	1,742	
27年度	利用実人員	6	7	7	7	8	8	10	9	9	9	11	9	100	5,430 千円
	延べ利用件数	118	116	123	128	149	131	133	127	135	130	138	164	1,592	

◆障害者地域生活支援事業・相談支援事業

障害者総合支援法の障害者地域生活支援事業における相談支援事業を町より受託し、基本相談支援と計画相談支援を行いました。基本相談支援では、障害児・者やその家族から様々な福祉サービスや日常生活の相談に対応し、必要に応じ教育、就労、医療、福祉等の関係機関と連携し、情報提供や情報共有をしながら障害児・者が安心して地域で暮らせるよう支援しました。延べ相談件数は630件でした。計画相談支援では、障害福祉サービスの利用を行う際に必要なサービス等利用計画の作成やその計画が本人にとって適切かどうか、必要に応じて見直しを図るためのモニタリング支援を行いました。昨年度と比較して実人数は微増となりましたが、延べ相談件数は減少となりました。また、障害児・者への相談支援体制を充実させるため平成29年1月より相談員を1名増員しました。その他、猪名川町障害者自立支援協議会の専門部会事務局として各部会に参加し、障害児・者が安心して暮らせる町づくりのため諸課題について取り組みました。

○障害種別相談等延べ件数

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
28年度	身体	3	7	5	1	1	2	4	4	3	18	9	6	63
	知的	25	16	12	13	15	10	12	11	18	12	14	20	178
	精神	18	18	15	15	16	19	25	21	10	13	22	36	228
	重症心身	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	8
	発達	4	5	1	3	6	13	5	8	4	3	9	7	68
	高次能	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	1	3	10
	その他	9	3	2	10	2	5	4	0	2	5	10	23	75
	合計	63	51	36	43	42	49	50	44	37	51	67	97	630
27年度	身体	5	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	10
	知的	11	14	13	16	17	15	23	18	20	17	15	11	190

度	精神	23	18	11	19	25	31	21	14	18	20	10	9	219
	重症心身	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発達	17	17	23	33	26	18	9	20	9	14	15	9	210
	高次能	4	1	3	3	3	7	3	1	4	5	2	4	40
	その他	4	4	3	8	0	7	3	1	0	0	0	1	31
合計	64	55	53	79	72	81	59	54	51	56	42	34	700	

◆計画相談支援実績

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
28年度	利用実人数	16	28	41	29	23	16	21	48	50	25	38	24	359	6,417千円 (延べ 1,857件)
27年度	利用実人数	29	36	31	29	8	15	9	39	92	14	19	18	339	6,304千円 (延べ 2,464件)

◆声の広報等発行事業

文字による情報入手の困難な視覚障がいのある方に、音訳ボランティア「リヴィエール」、点訳ボランティア「てんてまり」の協力を得て、町広報・社協だより・議会だより・人権いながわ等を定期的に音訳・点訳への編集・発行をしています。また、新たに選挙公報の音訳・点訳発行も行いました。今年度は、議会だよりの音訳編集分も、町のホームページにアップされるようになりました。町福祉課の協力を得て町内の視覚障がいのある方にチラシを案内し事業のPRに努めました。また、CDや点訳物は図書館や福祉課等にも配布し、利用者数は3名(延べ75名)となりました。(昨年度は、3名 延べ78名)



◆障害児療育支援事業

町からの受託事業として言語聴覚訓練、理学療法、作業療法(言語聴覚訓練と作業療法は週2日)を週5日実施しました。今年度は実利用者が71名、延べ利用者数756名の利用がありました。(昨年度は、実利用者63名 延べ利用者656名)

5) 高齢者福祉活動

①介護保険事業

◆訪問介護事業（ホームヘルパー）

ホームヘルパーが自宅へ訪問し、食事・入浴・排泄等の支援をする身体介護、掃除、洗濯、調理等の生活援助を行いました。

今年度は、利用者数の増加はあるものの、比較的介護認定が軽度の利用者の増加により微増となりました。町内居宅事業所との連絡を密にとり、利用者確保に努めます。

○訪問介護事業利用件数

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
28年度	実人員利用	62	64	63	62	63	65	59	66	63	61	67	66	761	20,652 千円
	延べ利用件数	485	497	504	520	571	535	504	547	502	501	550	659	6,375	
27年度	実人員利用	62	60	58	62	57	55	56	56	58	57	54	59	694	20,565 千円
	延べ利用件数	551	520	539	547	481	468	494	445	435	407	413	486	5,786	

◆通所介護事業（高齢者デイサービス）

入浴や食事等の支援を日帰り提供しています。今年度から機能訓練加算項目を廃止したことや慢性的な人材不足により新規の利用者を積極的に獲得できなかったことが大きく影響し、昨年度に比べると大幅な減収となりました。人材不足の解消に向けた取り組みや、介護予防運動など新たなセールスポイントを作ることで、より良いサービス展開を行い、新たな利用者の支援につながるよう努めます。

○通所介護事業利用件数

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
28年度	利用実人員	80	79	77	80	76	80	78	77	80	76	76	76	935	62,291 千円
	延べ利用件数	715	718	662	695	713	701	695	685	629	571	616	654	8,054	
27年度	利用実人員	88	87	84	83	83	86	88	86	87	82	76	76	1,006	72,506 千円
	延べ利用件数	759	798	730	747	709	768	793	720	668	637	671	723	8,723	

◆認知症対応型共同生活介護事業（グループホーム）

認知症高齢者に対し、その有する心身の能力に応じて共同生活住居で自立した日常生活を営むことができるよう、家庭的な環境のもとで入浴・排泄・食事な

どの支援及び機能訓練を提供しています。今年度は、退所者や入院者数が増え利用料収入が減少となりました。なお平成 29 年 3 月 31 日現在の入居者は、要介護 2 の方が 4 名、要介護 3 の方が、2 名の計 6 名の内 2 名の方が入院されています。

○認知症対応型共同生活介護事業利用実績

(単位:人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
28年度	利用実人員	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	67	24,253 千円
	延べ利用件数	150	155	150	170	186	180	186	180	186	186	140	137	2,006	
27年度	利用実人員	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72	24,895 千円
	延べ利用件数	173	186	180	186	186	180	186	180	186	186	174	167	2,170	

◆居宅介護支援事業

介護サービスの利用にあたって、ケアマネジャー（介護支援専門員）が利用者の希望に添った介護サービス計画（ケアプラン）を作成し、介護を必要とする方やその家族の相談に応じています。地域包括支援センター機能維持のため、今年度 9 月より当事業所を休所しました。

○居宅介護支援事業利用実績

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
28年度	利用実人員	109	93	82	74	22								380	4,095 千円
27年度	利用実人員	127	125	128	125	117	116	118	115	110	110	103	108	1,402	18,486 千円

②介護予防・生活支援事業

◆軽度生活援助事業

日常生活で手助けを必要とする高齢者、障がい者を対象に社会とのつながりを持ちながら安心した生活が送れるよう、外出時の援助、食事・食材確保などの軽度の援助サービスを提供しました。また、介護保険制度の支給限度額超過などで介護保険サービスが保険給付外となるケースに対して、この事業を利用していただき日常生活支援を実施しました。

今年度は利用者数の変化はなく、常時同じ方の継続的な利用となりました。

○軽度生活援助事業利用件数

(単位：人・件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
28年度	利用実人員	10	11	11	13	11	12	11	12	14	11	11	7	134	922 千円
	延べ利用件数	34	38	24	30	41	54	38	49	43	40	44	49	484	
27年度	利用実人員	14	13	14	16	10	11	11	14	19	9	10	8	149	1,047 千円
	延べ利用件数	68	45	69	69	49	48	40	40	54	25	25	34	545	

③地域支援事業

◆高齢者食生活改善事業

地域支援事業の一環として、高齢者の食生活改善を支援するため、管理栄養士による相談活動や食事指導を行いました。今年度は個別相談、集団指導等、依頼には全てに対応し、栄養・食事指導の件数は増加となりました。

年1回実施している健康づくり講演会では、「健康寿命をのばす食べ方」をテーマに取り上げ、37名と過去最高の参加者数となり、テーマや告知、開催日を工夫することで参加者増につながりました。

食生活改善事業での相談・指導及び講習会での延べ件数は179件、339名となりました。(昨年度 延べ件数は89件、241名)

◆認知症初期集中支援事業

今年度より町の委託を受け地域包括支援センターにおいて「認知症初期集中支援チーム」を立ち上げました。今年度は認知症サポート医と今後の運営について、協議するとともに、広く啓発をするため、PRチラシの作成を行いました。



◆高齢者健康長寿体操モデル事業

平成26年10月より、介護保険改正および総合

事業への移行を踏まえて、地域における体操教室が展開されています。昨年度までに、若葉、旭ヶ丘、松尾台、伏見台、猪名川台、パークタウン東の6地区で3ヶ月間の健康長寿体操モデル事業が実施されました。

今年度も新たに、木津東山、清水、北田原、上阿古谷、つつじが丘の5地区がモデル事業を実施し、いずれの地区もモデル事業終了後、自主教室として継続実施されています。地域包括支援センターは、生活支援コーディネーターと連携し、地域との打合せとモデル事業での身体測定、アンケート調査、教室運営について随時相談で関わりました。

◆地域包括支援センターの運営

町の委託を受け、高齢者が自立して生活できるよう、総合相談（権利擁護）、介護予防ケアマネジメント、介護支援専門員（ケアマネジャー）支援などの事業を実施しました。今年度も、複合的な課題（高齢者と障がい者の複合世帯、生活困窮とゴミ問題、認知症と独居、精神疾患等）を抱えるケースなどが、民生委員・児童委員やサービス事業者、病院のソーシャルワーカー等の多岐にわたる団体・機関からの相談が増えています。その中でも支援困難ケースについては行政機関との連携を図りながら支援を行いました。総合相談（介護予防プラン作成を行わない相談）件数は、延べ998件、月平均83件となり、認知症関連の初期相談、遠距離での介護問題等の相談などが多くなりました。介護予防プラン作成は、333件（昨年度305件）となる中、居宅介護支援事業所の予防プラン受入も難しくなっており、プラン作成の委託先を探すことが困難な状況にあります。また、老人会等からの依頼を受けて、高齢者福祉や介護予防をテーマに出前講座を実施しました。

○出前講座テーマ・件数及び参加人数

	日	テーマ	対象・参加人数等
1	4/9	健康寿命を延ばす生活習慣のコツ、脳トレ	紫合老人会・紫友会 40名
2	4/14	介護保険あれこれ	旭ヶ丘体操クラブ 10名
3	5/29	介護保険あれこれ	伏見台自治会福祉部 27名
4	6/7	認知症ってなあに・脳トレ	杉生老人会 24名
5	6/7	介護保険について	六瀬地区民生委員会 11名
6	6/15	認知症を知って予防しましょう・脳トレ	猪淵地区福祉委員会 22名
7	6/16	熱中症対策	白金ほっとサロン絆 6名
8	6/24	脳トレ体操・脳トレゲーム	銀山老人会 5名
9	7/12	閉じこもり・うつ予防	白金プラチナクラブ 12名
10	8/3	認知症予防・脳トレ	若葉いきいき体操教室 40名
11	9/2	認知症予防・血圧測定	西畑老人会・健笑会 10名
12	9/14	楽しく脳を鍛えましょう・脳トレ	若葉むつみ会 36名
13	10/7	転倒予防に役立つ食事・転ばない体をつくりましょう・脳トレ	杉生老人会 19名
14	10/28	脳トレ・脳トレゲーム	銀山老人会 4名
15	11/19	転倒予防・転ばない体をつくりましょう・脳トレ体操	白金県営住宅プチサロン 5名
16	11/24	うつ予防・閉じこもり予防・脳トレ	荘苑ほっとサロン 20名
17	1/20	転倒予防・コミュニケーション麻雀	西畑老人会・健笑会 10名
18	1/29	転倒予防・脳トレ	旭ヶ丘コスモスクラブ 23名
19	2/15	町で取り組んでいる認知症関連の施策・事例紹介	猪名川町老人クラブ連合会 87名

20	2/18	高齢期に多い疾患 脳トレ体操	松尾台老人クラブ・みどり会 33名
21	3/17	認知症予防	若葉自治会熟年クラブ 26名
合 計			470名



紫台紫友会 出前講座の様子



西畑老人会 出前講座の様子



若葉むつみ会 出前講座の様子



松尾台みどり会 出前講座の様子

◆家族介護支援事業

○家族介護教室

開催日 ①平成 29 年 1 月 17 日(火)

②平成 29 年 3 月 14 日(火)

場 所 ①総合福祉(ゆうあい)センター 教養娯楽室

②総合福祉(ゆうあい)センター 研修室

参加者 ①24名

②34名

内 容 「終活が気になるアナタのためのお片づけ Part1, 2」

講 師 ビジューオーガナイズ(株)

川西 由佳氏



○介護者おしゃべり会

認知症の方を介護されている家族の方が、気軽におしゃべりをする場として開催しました。今年度は6回の開催で延べ38名の参加がありました。介護を通じての意見・情報交換となり、介護での辛さを吐き出し合う、知恵を交換し合う、元気を出し合う、そんな場となりました。

◆生活支援体制整備事業

介護保険制度改正により始まった介護予防・日常生活支援総合事業のひとつとして、町の委託を受け、生活支援コーディネーターを配置しています。「いつまでも安心して暮らし続けることができる地域づくり」の実現に向けて、町や地域包括支援センター等、地域の多様な機関・団体と連携し、地域での介護予防・生活支援サービスの充実のための、ネットワークづくりや住民同士の支えあいの活動支援、開発を目指す事業です。

今年度は、地域へ出向きサロン等の活動者へ現状の聞き取りや、活動支援などを行いました。また、地域のサロンなどの活動状況を紹介した冊子を作成し、地域での活動を知っていただく機会になればと関係機関等への配布を行いました。

他にも、他市町の取り組み状況を知る機会として、阪神7市1町の生活支援コーディネーター意見交換会にも参加し、情報収集に努めました。

○認知症高齢者見守り支援事業

『やすらぎ支援員』（認知症の基礎知識・接遇研修を受けた方）が、認知症高齢者の自宅を訪問し、見守りや話し相手を通じて『なじみの関係』を作ること、その方の心身の安定を図り、すこやかな在宅（住み慣れた地域で）生活を送れるように支援するとともに、認知症高齢者を介護する家族の介護負担の軽減を図ることを目的としています。

今年度は利用者数に大きな変化はなく、5名、利用延べ時間 78.5 時間となりました。（昨年度 利用者 5 名 利用延べ時間 175.5 時間）その中で利用者の入れ替りがあり、見守り事業利用後にデイサービスや入所施設などへの移行がスムーズに進んだケースがありました。延べ時間数は昨年度より少なくなっていますが、閉じこもり予防や居宅支援につなげることができました。

○認知症サポーター養成講座

平成17年度より厚生労働省が推進する「認知症サポーター100万人キャラバン」の一環で、猪名川町でも平成20年度から地域包括支援センターが事務局となり、「認知症サポーター養成講座」を開催しています。認知症への正しい理解、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮せるまちを地域住民の手によってつくっていくことを目指す、全国的な取り組みです。

昨年度より若い世代への普及・啓発に取り組み、猪名川高校、楊津小学校、六

瀬中学校、大島小学校、北陵高校で開催しました。

今年度は町内大型店舗や事業所、医療機関、保育所等での講座開催が増えました。

また、キャラバン・メイトでの徘徊対応捜索訓練を各中学校区で実施、訓練内容の見直しの中で、町の SOS ネットワークとの連携強化を図りました。ステップアップ講座（オープン講座）（42 名参加）の開催も行うことができました。

・ 認知症サポーター養成講座開催数及び参加人数

	開催回数	サポーター数
28 年度	29 回	540 名
27 年度	18 回	387 名
26 年度	14 回	458 名
25 年度	3 回	62 名
24 年度	8 回	211 名
23 年度	5 回	99 名
22 年度	4 回	73 名
21 年度	10 回	540 名
20 年度	4 回	128 名



大島小5 認知症サポーター養成講座の様子



猪名川中学校区認知症徘徊対応捜索訓練の様子

◆ 地域ふれあい事業

○ 「ふれあいの場」運営補助事業

町の補助・支援を得る中、地域の高齢者が孤立することなく、安心して暮らせ、世代を超えた地域の交流の場づくりを進める上で、地域住民のつながりの再構築の一助となることを目的として、「ふれあいの場」運営補助事業を平成 16 年度より実施しています。今年度は、若葉自治会より申請があり、運営助成を行いました。

○高齢者健康促進事業の助成

町内の高齢者のふれあいと健康促進を目的として、町老人クラブ連合会主催の「グラウンドゴルフ大会」（10月19日実施、約220名の参加）に運営助成をしました。なお、助成は共同募金地域配分金を財源としています。

6) 福祉教育活動

①福祉教育協力校の指定

急速に進む少子高齢社会を担う世代の育成として、誰もが地域社会の一員として互いに支えあえるような豊かな心を育む教育の必要性が求められています。昭和59年度より毎年町内の小中学校を福祉教育協力校として町内全ての小学校6校と中学校3校を指定し、校区内の高齢者との交流やボランティア体験等の福祉体験を積極的に取り組みました。また、各小中学校への福祉教育助成金は共同募金地域配分金を財源としています。

②「福祉学習を考える集い」の開催

学校や地域での福祉学習では、自ら学び考える「生きる力」を育むことを目的に様々な形で実践されています。そこで、本協議会では福祉学習を推進する関係者の意見や情報交換の場づくりと今後の福祉学習の進め方や課題についての共有化と課題解決に向けた取り組みを進めることを目的として、平成25年より「福祉学習を考える集い」を実施しました。



福祉学習を考える集いの様子

開催日：平成28年8月10日(水) 10:00~12:00

場 所：総合福祉（ゆうあい）センター 研修室

参加者：小・中学校教員及び学校関係者

教育委員会等 計11名

講 演：「地域の生活課題を素材とした福祉教育の展開」

講 師：日本福祉大学 野尻 紀恵氏

③福祉体験学習・講演会等の開催

各学校にて、地域の方や施設の方との交流を行うと共に、点字や手話等の体験を通して福祉体験学習を行いました。また、下記のとおり、福祉講演会を行いました。

学校名	開催月	内 容	講 師	対象者
猪名川小学校	9月	点字の体験とお話	点訳ボランティア 「てんてまり」	4年生
	11月	福祉講演会	関西盲導犬協会	全校生徒
		①すばるとの交流	すばる利用者	6年生

	12月	②施設見学	当協議会職員	
楊津小学校	9月	①高齢者疑似体験 ②車いす体験	当協議会職員	4年生
	10月	認知症キッズサポーター養成講座	キャラバンメイト	4年生
		①総合福祉(ゆうあい)センターの見学 ②グループホームとの交流	当協議会職員	4年生
		聴覚障害についてのお話	手話サークル「マジック」	4年生
11月	点字の体験とお話	点訳ボランティア「てんてまり」	4年生	
大島小学校	10月	福祉講演会(視覚障害についてのお話とミニコンサート)	北村 多恵氏	全校生徒
		認知症キッズサポーター養成講座	キャラバンメイト	5年生
		車いす体験	当協議会職員	5年生
松尾台小学校	10月	点字の体験とお話	点訳ボランティア「てんてまり」	4年生
	11月	福祉講演会	木村 佳友氏 & 介助犬デージー	1~4年生
	2月	聴覚障害者についてのお話	手話サークル「マジック」	2年生
白金小学校	10月	点字の体験とお話し	点訳ボランティア「てんてまり」	4年生
	3月	福祉講演会	大内 秀之氏	4年生
つつじが丘小学校	10月	福祉講演会(視覚障害についてのお話とミニコンサート)	北村 多恵氏	全校生徒
中谷中学校	11月	福祉講演会「目が見えなくても～当事者から皆へのメッセージ～」	雑賀 利幸氏	全校生徒 保護者・ 校区5・6 年生
六瀬中学校	11月	車いす体験・高齢者疑似体験	当協議会職員	1年生
		認知症サポーター養成講座	キャラバンメイト	2年生
	11月	聴覚障がいについてのお話と手話体験	手話サークル「マジック」	3年生
猪名川中学校	1月	奈良市内を中心に人権福祉について学び、体験する。人権福祉に関する施設や寺院で学習		2年生
猪名川高校	6月	認知症サポーター養成講座	キャラバンメイト	教育コミュニケーション類型3年生
	10月～11月	聴覚障害についてのお話と手話についての学習	手話サークル「マジック」	

④「トライやる・ウィーク」への協力

兵庫県教育委員会では、県下の公立中学校2年生全員が、地域社会で体験活動を行う週間を設定し、学校・家庭・地域社会が一体となり体験活動を通して、中学生の心の教育を図る目的で、平成10年度より「地域に学ぶトライやる・ウィーク」が実施されています。

◆トライやる・ウィーク受け入れ状況

(単位：人)

受入期間	学校名	受入人数
5月23日～5月27日	猪名川中学校	6
5月30日～6月3日	中谷中学校	3
	六瀬中学校	3

7) 広報・啓発活動

①広報紙等の発行

機関紙である「社協だより」を6月、10月、1月、3月の年4回（1回12,200部）発行し、全世帯に配布しました。

また、「ひょうごの福祉」を関係機関に配布すると共に、「ふれあい伝言板」（役場、図書館、ふらっと六瀬、日生連絡所に設置）に福祉情報を掲示、ホームページで社協活動のPRに努めました。（共同募金の地域配分金を活用しています）

②「健康福祉まつり」への取組み

「だれもが健康で、安心して暮らせる地域社会をめざして、住民相互の理解と交流を深める」ために、地域福祉の担い手である住民の方々に地域や社会に参加してもらうきっかけづくりになることを目的として、社協らしい視点で地域福祉の推進の啓発に取り組み



ました。今年度は、高齢者疑似体験とボランティアフロアチャートを実施しました。高齢者疑似体験では、「体験してみて、高齢者は大変ということがわかりました」などの声を聞くことが出来ました。

8) 自主財源活動

当会の財源は、町補助金・社協会費・共同募金地域配分金が主です。しかし、少子高齢社会に対応し、地域福祉・在宅福祉の新しいサービスを開発・推進するためには、多額の経費が必要となります。安定した財源確保のため、あらゆる地域福祉活動の展開の場において、本活動の必要性を訴えとともにその啓発に努め、会費・共同募金等への理解と協力を促しました。

①社協会員会費

会員会費は、当会に対する住民の物心両面にわたる理解と協力、参加を広げていくことを目的に、昭和63年から実施し、本会会員には、平成9年度から「会員之証」を発行しています。

◆会員会費の納入状況

(単位：円)

会員の種類	会費額	28年度		27年度	
		金額	摘要	金額	摘要
一般会員	500	2,978,230	49自治会	2,904,350	49自治会
賛助会員	5,000	265,000	52事業所	196,000	37事業所
団体会員	5,000	10,000	2団体	10,000	2団体
計		3,253,230		3,110,350	

②赤い羽根共同募金活動

兵庫県共同募金会 猪名川町共同募金委員会として、赤い羽根共同募金運動を実施いたしました。本年度は共同募金創設70年を迎え募金活動の強化、自治会・学校・法人・民生委員児童委員・職域などで多くの皆様へ活動を周知し、ご協力をいただきましたが、昨年度に比べ若干減額となりました。

◆共同募金実績

目標額	実績額	達成率
2,194,000円	2,128,126円	96.99%

◆募金別実績額

(単位：円)

募金方法	金額	募金方法	金額
戸別募金	1,384,799	学校募金	103,526
街頭募金	17,467	イベント募金	22,774
法人募金	283,000	その他(募金箱)	8,210
職域募金	308,350	-	-
合計		2,128,126	

◆社協会費と共同募金の推移

(単位：円)

年度	24	25	26	27	28
社協会費	3,141,112	2,904,435	3,569,775	3,110,350	3,253,230
共同募金	2,265,508	2,211,120	2,176,917	2,167,221	2,128,126

◆共同募金地域（B種）配分金の推移

昨年度共同募金実績に対して翌年度に共募B種配分金として交付されたもので、地域福祉活動財源となります。

（単位：円）

年度	24	25	26	27	28
共募地域（B種）配分金	1,848,000	1,769,000	1,772,000	1,771,000	1,768,000

③歳末たすけあい運動募金活動

◆募金実績

（単位：円）

NO	区分	金額	備考
1	戸別募金	615,883	
2	街頭募金	10,622	12/1 日生中央駅
3	募金箱	16,403	
4	預金利子	26	
5	前年度繰越金	247,051	
6	その他募金	1,410	
合計		891,395	

◆配分内訳

（単位：円・件）

NO	配分先	配分金額	見舞金	件数	備考
1	生活困窮世帯	100,000	10,000	10	相談支援等より
2	準要保護世帯（基本額）	430,000	5,000	86	教育委員会より
3	準要保護世帯（2人目以降）	192,000	3,000	64	
4	繰出金	60,000	0	0	歳末募金事務費へ繰出
5	次年度繰越金	109,395	0	0	
合計		891,395		160	

④善意銀行活動

地域の方々からの善意（金銭や物品等）を預かり、災害に見舞われた方や緊急に生活つなぎ資金が必要な方に払出すとともに、地域の福祉施設や福祉活動等に払出しを行いました。

◆平成28年度 善意銀行預託払出状況表

種類	預託内容	金額等	備考		払出内容	金額等	備考
金銭	一般	270,800 円	11件		一般	546,750 円	・摂丹地区里親会 ・ひょうご子ども家庭福祉財団1件 ・特定非営利活動法人フードバンク関西1件 ・きょうされん大会実行委員会1件 ・緊急払出し2件 ・健康長寿体操12件 ・歳末助け合い運動配分10件
	指定	139,788 円	2件		指定	257,962 円	・コミュニケーション麻雀購入 ・壁時計(すばる)
	合計	410,588 円			合計	804,712 円	
物品	福祉用具	6件	・車イス 3件 ・ポータブルトイレ 2件 ・歩行器 2件 ・入浴用イス 2件 ・入浴台 1件		福祉用具	10件	町内福祉施設などへ払出し
	その他	27件	・マッサージチェア ・タオル ・肌着、靴下、シーツ ・石けん ・半紙、巻紙 ・ふき取り布 ・炊飯器、扇風機 ・靴、杖、使い捨て手袋など		福祉用品 その他	18件	
	合計	33件			合計	28件	

9) 団体事務局の運営

本会では、次の福祉8団体の事務局を担当し、諸活動に協力しました。

- ①老人クラブ連合会 ⑤身体障害者父母の会 (セルフヘルプグループ)
 ②生甲斐相談会 ⑥手をつなぐ育成会 (")
 ③遺族会 ⑦こころ猪名川家族会 (")
 ④英霊にこたえる会 ⑧民生委員児童委員協議会

10) 総合福祉センター管理運営等

総合福祉センターでは、高齢者等の生きがい・健康活動として各種の教室を開催し、広く利用の促進を図りました。また、町から総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、同センターの施設利用や維持管理の業務を行い、その利用状況及び改修工事の状況等については、次のとおりとなります。

◆総合福祉センターいきいき教室実施一覧表

教室名	実施時期	実施回数	参加者数
いきいき健康体操教室	5月～9月	10回	20名
初級水泳教室	5月～9月	10回	16名
水中体操教室	5月～9月	10回	14名
健康カラオケ教室	5月～7月	4回	20名
手作り布ぞうり教室	6月	2回	15名
いきいき健康体操（水曜コース）教室	10月～3月	10回	20名
いきいき健康体操（木曜コース）教室	10月～3月	10回	22名
水中体操教室	10月～3月	10回	19名
透明水彩入門教室	10月～12月	6回	14名
いきいき発声講座教室	10月	2回	10名
計	74回		170名 (延べ1,072名)

◆総合福祉センター施設の利用状況一覧表

(単位：件・人)

		一般浴室	室内プール	教養娯楽室	研修室	ドーム
28 年 度	件数			383	231	1,353
	人数	47,688	4,713	5,084	3,610	10,870
27 年 度	件数			332	197	1,330
	人数	48,586	4,531	4,640	2,856	10,874

◆総合福祉センターの施設修繕一覧表

(単位：円)

実施時期	修繕工事内容	金額
4月	1階A階段防火シャッター修繕工事	130,896
	岩・泡風呂昇温用三方弁モーター部品取替工事	453,600
5月	地下1階機械室内給湯配管水漏れ配管取替工事	295,920
6月	空調設備空冷ヒートポンプチラー冷媒ガス漏洩調査	168,480
	空調設備空冷ヒートポンプチラー修繕工事	356,400
7月	2階介助浴温度調整マイクロコントローラー取替工事	92,880
8月	ヒートポンプチラー（空冷R-2） 電装部品修繕工事（食堂・教養娯楽室系統）	356,400

9月	2階介助浴槽昇温用三方弁モーター一部品取替修理	213,840
10月	テレビブースター取替工事 厨房内給湯器リモコン修理	103,680 14,256
11月	1階泡風呂脱衣場水道栓修理 消火器更新取替	3,931 324,000
12月	岩風呂内カラン取替修理 泡風呂浴脱衣場扉調整修理	17,820 3,240
1月	泡風呂浴室内排煙窓修理	350,000
2月	岩風呂浴脱衣場扉調整修理 厨房器具（スチームコンベクション）部品交換修理	65,988 107,460
3月	障害者センター自動扉修理	1,404
計		3,060,195

社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

◎理事 (定員 11 名)

(任期 平成 28 年 6 月 11 日～平成 29 年 6 月 13 日) ※順不同

会長	鍋谷	將
副会長	桑江	朝武
理事	仲間	享三
〃	中村	多一
〃	荒井	康子
〃	平井	邦子
〃	福井	和夫
〃	村山	興治
〃	大野	健次郎
〃	喜多	護
常務理事	柳谷	勝則

◎監事 (定員 2 名)

(任期 平成 28 年 6 月 11 日から平成 29 年 6 月 13 日)

監事	家門	正幸
監事	今村	恵子

◎評議員 (定員 23 名)

(任期 平成 28 年 5 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日) ※順不同

評議員	西山	宇一	評議員	水黒	健一
〃	上殿	孝弘	〃	高岡	美津子
〃	戸田	絹代	〃	亀川	公昭
〃	堀口	初恵	〃	安藤	邦美
〃	久保	紀代子	〃	広瀬	隆
〃	端野	久美子	〃	山中	清治
〃	今泉	友幸	〃	板橋	汎子
〃	石井	誠	〃	西中	毅
〃	太田	はるよ	〃	関口	捷子
〃	鈴木	裕治	〃	北上	倫聖
〃	大下	章			
〃	荒瀬	範彦			
〃	井上	清太郎			

